

創立150周年

1月号（令和6年1月9日発行）



kurosho-dayori

# 鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

令和6年 甲辰(きのえ たつ)の年 昇り竜のように

校長 玉置 恭美



新しい年の始まりです。年未年始の横浜は、例年より気温が高く、日差しも暖かに晴れた日が多かったですが、元日から、緊急地震速報に驚き、新聞、テレビ等で被災された方々の報に触れ、心が痛む冬休みでした。旅行や帰省をした児童、教職員のこと、とても心配しておりました。被災された方々にお見舞申し上げるとともに、一日も早く被災地の日常が平常化することを祈念いたします。

12月31日、今年は、宗英寺の除夜の鐘が美しく響くのが聞こえました。日付が変わる前から、鐵神社に参拝に行きましたが、皆さんが口々に「今年は暖かい」とおっしゃっていました。鐵囃子の方々の演奏と獅子舞が新年の幕開けに向け彩を添える中、神前で太鼓が打ち鳴らされ、令和6年の到来を告げていました。地域の方々は長い列を作って、茅の輪をくぐり神社を参拝。地元のもち米を使ったつきたてのお餅が参拝者に配付され、皆さんの笑顔がかがり火に照らされて光っていました。お獅子に頭を噛んでもらったのは何年振りでしょうか。鐵神社の伝統と地域の方々の思いを、再度心に刻む辰年のはじめでした。元日には、「歳旦祭」が鐵神社で行われ、今年一年が平穏で、さらに鉄小学校が飛躍する年であるよう、願いました。

十干(じっかん)と十二支(じゅうにし)を組み合わせたものが「干支」です。今年は「甲辰」(きのえ たつ)。甲には、「成長、春、発展」という意味があり、「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味し、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものです。「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられ、この2つの組み合わせである甲辰は、「春の陽が広く注がれ、成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているといえそうです。鉄小学校で、これまで培ってきたことが形となって現れ、児童たちが伝統と共にそれぞれの得意分野を伸ばし、空に昇るように、大きく成長していく年になることを願います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

